

葦工 ニュース

県立葦崎工業高等学校 企画・広報部
第24号 2006.11.08

第44回葦工祭開催 台湾より高校生が訪問 国体3位レスリング部 省エネカー“もてぎ”を疾走

第44回葦工祭開催「Travelers to the future ~過ぎ去る過去 新たなる未来 終わりなき旅~」をテーマに第44回葦工祭が10月13、14日の日程



で行われた。開祭式で学校長より励ましの言葉をいただいた後、団結の餅つきが、学校長を皮切りにPTA会長・クラス委員長などによって行われた。PTA合唱団による3曲の合唱が披露され、その後はクラス展示・似顔絵・文化部の展示などの見学時間となった。クラス展示では精巧に作られた筏が並べられ、素晴らしい出来栄に感嘆の声が上がっていた。

写真は筏部門優勝の3年6組「男達の

大和」である。船長は担任の渡辺先生、副船長は副担任の雨宮先生、乗組員はクラス全員。一致団結して平和を願いつつ、大海原に船出する様子が表現されています。



台湾国立北門高級農工職業学校の高校生と交流



女子生徒12名を含む台湾からの高校生28名が、本県高校生との交流による国際相互理解の推進を図ることを目的に、国際教育旅行の一環として本校を訪れました。北門農工高校は全校生徒数2,100人の台湾屈指の名門職業高校です。来校日が、本校の学園祭と重なり、授業や部活動等で制作した「ロボット」や「省エネカー」、「模擬電気配線パネル」などの工業作品展を見学。

また、太鼓部が和太鼓演奏を披露して歓迎、それに応えるように台湾の民話ダンスを演舞してくれなど文化交流もありました。授業体験として、情報科の「アニメーション制作」や環境化学科の「走査電子顕微鏡操作」など本校6学科の実習を4~5人のグループに分かれて体験。最後に茶道部が呈茶のお手前を披露。



